

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2026.06.No346

6月号

目次

受験者講習会オンデマンド化にむけて.....	1
令和7年度 高校生建築デザインコンクール入選作品発表.....	2
「建築士の日」支部事業.....	4
女性の窓.....	6
[No.121 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会]	
Coffee Break.....	7
information.....	8

URL <https://www.h-ab.com/>

受験者講習会オンデマンド化にむけて

事業委員会 林 昌 宏 (小樽支部)



事業委員会では、新規事業として「建築士受験者講習会（WEB講習会）」の実施について、昨年より検討を進めてきました。当初はオンデマンド化を目指して議論を重ねてきましたが、すぐに実現するには多くの課題があることが分かりました。そこで今年は、まず試験的な取り組みとして、現在札幌支部事業委員会が実施している対面の受験者講習会をWEB配信（ライブ配信）し、札幌支部と本部の共催で開催することとしました。また、土曜日に仕事がある方や毎週参加が難しい方にも受講いただけるよう、見逃し配信も行い、より多くの方が参加しやすい講習会を目指します。今後、受講者数がある程度見込めるようであれば、オンデマンド化に向けて課題解決のための予算を確保し、事業として完成度を高めていきたいと考えています。

▶ オンデマンド化のメリット

- ・一度成果物を作れば、以後は変更部分の編集のみで対応ができる
- ・講師の負担軽減
- ・会場費などの経費削減

▶ 現時点での課題

- ・編集時に講師が変わるなどして映像に違和感が出ないか
- ・テキストは毎年改訂が難しいため、オリジナル教材を作成すべきか
- ・札幌支部事業委員会との合同会議で、細かな点も含め多くの課題が浮上している

私自身、当初はもっと簡単に進められると考えていましたが、会議を重ねるたびに難しさを痛感しています。それでも、建築士会の会員の皆様にとって価値のある事業となるのであれば、完成に向けて取り組んでいきたいと考えています。

▶ 今後のスケジュール感

今年のライブ配信（見逃し配信付き）において、どの程度の受講者が集まるか受講者の満足度はどうか、これらを調査し、本当に求められている事業なのか、改善点は何かを再検討します。そのうえで、令和9年度の事業化を目標としています。もし令和9年度が難しい場合でも、私が委員長を務める2年間のうちに、何らかの結論や方向性を定めたいと考えています。

また、今後に向けて講師を引き受けてくださる方がいらっしゃいましたら、ぜひ事業委員会までお知らせください。

今年の講習会はすでに始まっていますが、来年もWEB講習会を実施する予定です。多くの方に受講いただき、その中から建築士試験に合格され、さらに会員となっただけできるよう、意義ある事業として確立していきたいと思います。



講習会テストの様子



ハイブリッドで開催（どこからでも参加できる講習会）

令和7年度 高校生建築デザインコンクール入選作品発表

課題 「地域をつなぐ公営住宅の集会所」

北海道建設部建築局、日本建築家協会北海道支部、北海道建築士事務所協会、北海道建築士会の共催により、令和7年度 高校生建築デザインコンクールが開催されました。開催は平成8年度から本年度で30回目を迎え、本年の課題は『地域をつなぐ公営住宅の集会所』で、空知地区の公営住宅を想定した課題であり、全道各地の建築を学ぶ高校生から想像力豊かなデザインの応募がされました。

応募作品は昨年より増加し、93名から82作品、その中から最優秀1作品、優秀3作品、佳作4作品、特別賞2作品を5人の審査員のポイントと協議により選定をいたしました。審査は課題条件の過不足、デザイン性、動線、作品の作り込みを、約3時間で行いました。事前に応募作品の資料は頂いていましたが、実物を見ると印象が変わるものもあり、82作品の審査は大変ですが、高校生らしい挑戦的なデザインやコンセプト提案、手書きからB I Mを活用したもの、丁寧な模型

写真等其々工夫を凝らした作品を楽しみながら審査を致しました。最優秀作品 札幌工業高等学校 松村さんの作品はプラン・デザイン・表現共優れており、現代の高校生の能力の高さに、毎年驚きと感銘を受けており、意図せずに全ての参加校に入賞作品があり、総合的にレベルが上がっているのを感じたところです。

昨年も応募していただいた高校生の方々、ご指導された教員の皆様へ感謝申し上げます。

建築業界は世界情勢等外的要因による影響を受けやすい面もありますが、魅力も多い業界です。建築に希望を持って学んでいる高校生の方々が、より深く楽しく建築に携わり、将来の建築業界を支える人材となる事を期待しております。

高校生建築デザインコンクール選定委員会
委員 松本 純 (札幌支部)

最優秀
作品賞

つながる橋庭

北海道札幌工業高等学校
松村 龍志 (3年)

○設計主旨

今回のデザインコンクールは想定のため大胆に土地を円形に掘下げた広場が特徴的な集会所とした。室内外をスムーズに繋ぐ土足動線によって靴の脱ぎ履きが負担となる高齢者や子供連れの親子でも気軽に利用でき、立ち寄れる空間とした。円形に掘り下げた広場には、集会所の下に空間を設け子供だけが通れる「低い天井の通路」として計画している。大人には少し狭く、子供にとっては秘密基地のように感じられる空間としたことで、自然と子供が集まり笑顔の絶えない広場になるよう設計した。建築全体を囲むようにウッドデッキを設けることで、内外を繋ぐ中間領域を作り、利用者が自然を楽しみ自由に広場と集会所の移動ができる空間を設計した。

「外」にいながら「中」にいるような感覚を味わってほしい空間です。

○審査講評

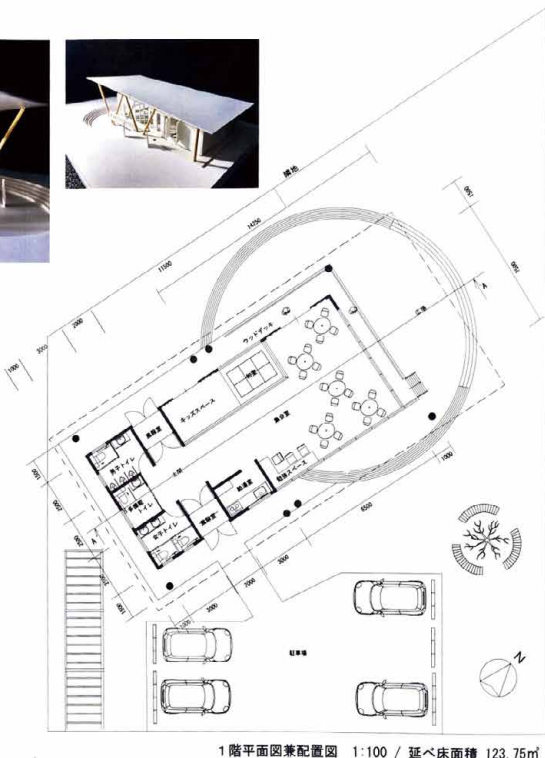
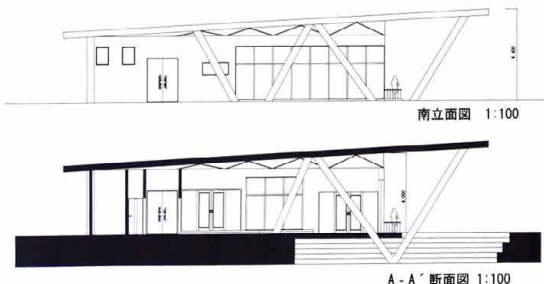
外観や屋根の軽やかさ、明るく開放的な室内空間など、デザインの斬新さや元気さ、そして構造提案に魅力があり評価された。また、配置や動線、多世代での利用を意識した空間計画など、使いやすさへの配慮も高く評価された。

つながる橋庭



今回のデザインコンクールは想定のため大胆に土地を円形に掘下げた広場が特徴的な集会所とした。室内外をスムーズに繋ぐ土足動線によって靴の脱ぎ履きが負担となる高齢者や子供連れの親子でも気軽に利用でき、立ち寄れる空間とした。円形に掘り下げた広場には、集会所の下に空間を設け子供だけが通れる「低い天井の通路」として計画している。大人には少し狭く、子供にとっては秘密基地のように感じられる空間としたことで、自然と子供が集まり笑顔の絶えない広場になるよう設計した。建築全体を囲むようにウッドデッキを設けることで、内外を繋ぐ中間領域を作り、利用者が自然を楽しみ自由に広場と集会所の移動ができる空間を設計した。

「外」にいながら「中」にいるような感覚を味わってほしい空間です。



優秀作品賞

北海道小樽未来創造高等学校 (定時制)
佐藤 怜央 (2年)
名久井 絆 (2年)

地域をつなぐ公営住宅の集会所

○設計主旨

この集会所は滝川市の公営住宅団地内に建てられるということで、滝川市で盛んなグライダーをモチーフにし、公営住宅の入居者だけでなく、周辺の地域住民にも利用でき交流できるような集会所を設計しました。

特徴としては、グライダーの垂直尾翼をモチーフに大壁を中心に、正面から見た時に右は昔のグライダーのような(過去)平らな屋根の形状にし、左は今のグライダーのような(現在)外側に向かって上がった屋根の形状にし、未来へ飛び立つというメッセージが伝わればと考えました。

そして、周辺の地域住民が利用しやすいように屋根を大きく取り屋根の下を歩いて入れることで地域をつなぐ集会所になればと設計しました。

○審査講評

グライダーの翼をモチーフにした斬新で現実的なデザインが印象的で、屋根形状と柱がリズムカルで洗練されている点が評価された。また、明快な平面計画や屋内外のつながりも考えられており、構造やプラン、形態のバランスもよく整っていることが評価された。



優秀作品賞

北海道札幌工業高等学校
金田美夢妃 (3年)

「和」がつくるみんなの「輪」

○設計主旨

公営住宅と地域をつなぐ「和」が、住民の交流という「輪」を育む集会所です。

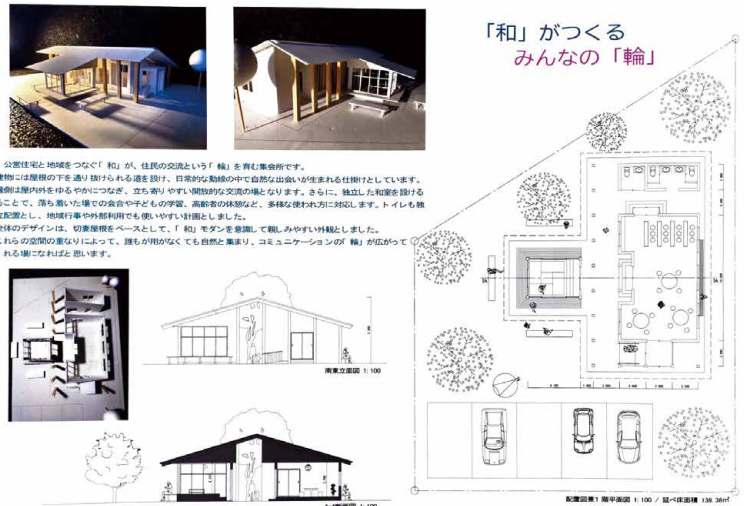
建物には屋根の下を通り抜けられる道を設け、日常的な動線の中で自然な出会いが生まれる仕掛けとしています。縁側は屋内外をゆるやかにつなぎ、立ち寄りやすい開放的な交流の場となります。

さらに、独立した和室を設けることで、落ち着いた場での会合や子どもの学習、高齢者の休憩など、多様な使われ方に対応します。トイレも独立配置とし、地域行事や外部利用でも使いやすい計画としました。

全体のデザインは、切妻屋根をベースとして、「和」モダンを意識して親しみやすい外観としました。これらの空間の重なりによって、誰もが用がなくても自然と集まり、コミュニケーションの「輪」が広がってくれる場になればと思います。

○審査講評

通り抜けられる空間構成や内外を織り混ぜた配置計画により、多様な使い方や人と人との出会い機会が自然に生まれる点が評価された。また、切妻の大屋根による雪国を考慮した落ち着いた外観と、地域と団地をゆるやかにつなぐ工夫が評価された。



優秀作品賞

北海道苫小牧工業高等学校
尾崎 恒誠 (3年)

地域創生と人の交差 繋がり与交流の場

○設計主旨

私の考えた集会所は親しみとつながりをテーマに考えました。木材を多くの部分で使い、親しみやすい印象にできるように、心がけました。

また、建物の周りに、木などの自然を配置することで、緑のある、住民の方が、集まりやすい場所になりました。集会所内にある、間仕切りシェルフは空間を仕切りながらも、閉鎖的にならないようにしました。

窓は全て同じ大きさ、形にするのではなく少しずつ置き方などに、変化を持たせることで、過ごしていて飽きずいつも楽しめる形にしています。

外には、テーブルと椅子を置くことで、座って団地を眺めながら、世間話などをできます。そして、テーマのように集会所を通じて多くの人たちが親しくなっていってほしいと考えています。

○審査講評

内外の空間が巧みに構成され、半屋外の使い方や樹木の取り込みまで計画されており、やさしく魅力的な空間が評価された。また、大屋根や窓の工夫により光の取り込みや空間の多様な使い方ができ、シンプルながら洗練されたデザインが評価された。



7月1日は「建築士の日」です。
今年も各支部にて様々な事業を企画しています。気になる他支部の取り組みも、ぜひ気軽にのぞいてみてください。

令和8年「建築士の日」各支部事業一覧

支部名	開催年月日	事業計画	開催場所
札幌	7月1日(水)	「建築士の日」ポスターによるPR活動	
千歳	未定		
恵庭	5月30日(土)	「ごみゼロの日クリーンウォーキング」に参加 (主催：恵庭市ボランティアサークル) 街の清掃活動と建築士会のPRを目的として参加	恵庭市内
北広島		実施計画なし	
石狩	未定		
函館	9月19日(土)	「ワインと地酒の夕べ」 会員の親睦と市民との交流を図り、「建築士」の存在をアピールする。	北海道ハウス タウンプラザ(函館市 亀田交流プラザ)
桧山	7月中旬 8月下旬 (予定・全2回)	◆江差景観ポイント整備ワークショップ 桧山振興局建設指導課・江差町役場・北海道科学大学と連携し、小学6年生を対象とした地域の景観およびものづくりの楽しさを学ぶ授業を行う。	江差小学校
小樽	未定		
後志	未定		
岩内	6月(予定)	建築士の日事業 第17回DIY体験会	開催場所未定
余市	未定		
室蘭	8月初旬 (予定)	親睦ビアパーティー	
苫小牧	7月(予定)	地域貢献活動として、道路の清掃ボランティアを予定しています。	苫小牧市内
日高	6月20日(土)	アポイジオパークの探求・交流会～アポイ岳登山会	様似町
空知	未定		
北空知	未定		
留萌	7月(予定)	社会奉仕資金造成ビアパーティー	留萌産業会館

支部名	開催年月日	事業計画	開催場所
旭川	7月1日(水)	建築士賞の贈呈、ビールパーティー	開催場所未定
士別	7月1日(水)	建築士の日に伴う会員親睦会	開催場所未定
富良野	6月27日(土)	建築士の日ビールパーティ	フラノマルシェ2 TAMARIBA (タマリーバ)
上富良野	2月22日(日)	「体験型イベント Community Unity 2026」で建築士を紹介(実施済み)	上富良野町保健福祉総合センター
名寄	7月3日(金) (予定)	「建築士の日 会員親睦焼肉パーティー」	雪あかり館
十勝	7月(予定)	「建築士の日」記念事業としてビールパーティーを開催予定	開催場所未定
	7月下旬 (予定)	『建築士と木工作』小学生・年長対象に木工作を作成 昨年 いす	帯広ホコテン
釧路	7月31日(金)	建築士の日記念事業 第35回 建築士会ビアパーティー2026	KKSコンベンションセンター
根室	未定		
中標津	7月4日(土) (予定)	建築士の日記念事業(ベンチの製作、寄贈) 標津町へ木製ベンチを4台程度、製作並びに寄贈	標津町
網走	7月(予定)	親子で巣箱づくり、ビールパーティー	開催場所未定
北見	未定		
美幌	2月	受験者合格祈願 絵馬事業	
紋別	7月18日(土)	第22回支部長杯パークゴルフコンペ	紋別市まきばの広場パークゴルフ場
遠軽	未定		
斜里	未定		
宗谷	7月5日(日)	毎年7月5日に開催される北門神社祭の神輿渡御に地域貢献活動・建築士会のPR活動として毎年参加しており、今年も参加する予定。	稚内市

「未定」の場合でも時期を変えて開催を計画している支部もあります。
詳しくは各支部へお問合せください。



女性建築士の集い

—自然から恵みをうけとる建築めぐり— 開催のご案内

女性委員会では、年に一度、全道の建築士が集う、「女性建築士の集い」を開催しています。本年は「自然から恵みをうけとる建築めぐり」をテーマに、白老町と室蘭市を舞台として、土地の歴史や自然環境と調和した建築を巡る2日間を企画しました。

6月20日(土)は、白老町の「星野リゾート 界ポロト」をメインに見学します。2021年に竣工したこの建築は、敷地にポロト湖の水を大胆に引き込み、湖との圧倒的な一体感を創出したランドスケープが特徴です。アイヌ文化を象徴する「チセ」から着想を得た三角錐の湯小屋など、地域の伝統を次世代へと繋ぐメッセージが建築の随所に込められています。午後は、2013年に廃校となった中学校跡地を利用し、豊かな水と共に「工園」を形成する体験型施設「ナチュの森」を巡るコース、またはアイヌ文化の復興・発展の拠点である「ウポポイ」を見学する2コースを用意しております。

また、今回は連動企画として、21日(日)に一般の方も参加可能な「オープンイベント」を開催。講師に民衆史研究家の石川圭子氏を迎え、「幕西の灯と寺町の鐘 —港町室蘭の知られざる近代—」と題したフィールドワークを実施。かつて北前船や鉄道で栄え、賑わいを見せた室蘭港周辺の歴史的な街並みを辿ります。昼食には、地元の名物「母恋めし」を楽しみながらの懇親会も予定しております。

建築を通して学び、多様な視点で語り合う充実の2日間です。1日のみの参加ももちろん歓迎いたします。皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

パラコードワークショップ

竹内 香澄 (札幌支部)

札幌支部女性委員会では、毎年年末に制作物のワークショップを開催しています。過去にはしめ縄リースづくりやスワッグ制作などを委員会で企画・準備を行っており、恒例行事となっています。昨年度はパラコードを使ったプレスレットのワークショップを実施しました。

パラコードとはもともとパラシュートに使われていたナイロン製の紐で、強度が強く丈夫なことから、最近ではアウトドアや防災の場面でも活用されています。ロープのようにものを結ぶ、固定するだけではなく非常時には縫い糸やフロスとしても活用できるようです。最近ではカラフルなものも多く、手芸店やアウトドア用品売り場でも手に入れることが出来ます。今回のワークショップでは、普段は腕やかばんなど身に着けられ、いざという時にはほどいて活用できる防災アイテムとしてプレスレット制作を行いました。当日は12月の委員会と忘年会も兼ねて、12名で実施しました。

プレスレットは、約2mのパラコードとバックルを使用し、コードを編み込んで制作します。まずは様々な色のパラコードとバックルから自分の好きな色を選び制作がスタート。基本的な編み方を繰り返すシンプルな工程なのですが、編み方が迷子になったりコードの締め具合で編み目にばらつきが生じたり…。皆で協力しながら、はじめは苦戦していたメンバーもコツをつかむと「きれいに仕上げたい！」と真剣に取り組む、全員完成させることが出来ました。



〈制作の様子〉

今回は1時間半でプレスレット制作を行いました。より簡単に作れるアイテムもあるようで、今後の防災への取り組みとして応用できないか?という話も盛り上がりました。

防災では実際に役に立つという点に加え、まずは関心や知識を持ち、日常に取り入れていくことが大切であるように感じました。今回のワークショップでは防災の入り口として有意義な機会になったのではないかと思います。

日常的にも活用できるパラコードで、身近なところから防災を取り入れてみてはいかがでしょうか。



〈完成したプレスレット〉

集いの申込はこちらから



申込締切：6月10日(水)
詳細：HPをご確認ください。
<https://h-ab.com/>

石狩支部 浜益の魅力

事務局長
笠間 友美



石狩市は日本海に面していて、縦に長い市となっております。石狩市の最北端に合併し浜益村から石狩市となった浜益があります。浜益は海と山に挟まれた自然豊かなエリアとして知られますが、歴史の深いエリアともなっております。今回は浜益の歴史を紹介させていただきます。

浜益の海沿いに「はまます郷土資料館」（石狩市指定文化財/旧白鳥家番屋）の建物があります。こちらの建物は、元白鳥家が経営していた鯨建網漁場の番屋で、明治32年に建てられました。その後、漁の衰退によって放置され、崩壊寸前でしたが、昭和46年に浜益村郷土資料館として現代に蘇らせたものです。水産庁の「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」にも選ばれています。館内には、当時鯨漁に使われた漁具をはじめとする、先人の知恵や技術を

伝える数々の資料が保存、展示され、郷土の文化遺産を明日の浜益へ受け継ぐ資料館として、広く一般に公開しています。

その他に浜益には『史跡荘内藩ハママシケ陣屋跡』があります。ハママシケ陣屋跡は浜益川右岸の丘陵地にあり、安政6年（1859）9月に北方警護の必要性から幕府は浜益から天塩めでの領地を荘内藩に与え、藩はその拠点として元陣屋を建設（万延元（1860）年）しました。集落のある海岸線ではなく山陰の谷間に作ったのは、冬期の猛烈な暴風雪から逃れるためだと言われています。陣屋の目的



はまます郷土資料館

だけではなく周辺の開拓の拠点も兼ねており、陣屋内には約200人余の藩士が暮らしておりました。その後戊辰戦争が勃発し藩士が引き揚げたため、陣屋は明治元年（1868）に解体されましたが、陣屋の構造が良好に残り幕末の国際情勢をうかがえる遺跡として歴史的、学術的に評価が高く、昭和63年（1988）、国の史跡として指定されました。現在は地元で研究会があり、現地ガイドを始めています。興味を持っていただいた方には案内も出来ますので、これからの季節、浜益へ来ていただければと思っております。



陣屋大手門

中標津支部 別海アイスマラソン

理事
伊井 崇史



昨年全道大会には、大勢の方に参加いただきありがとうございました。おかげさまで盛大に無事開催できましたことを、実行委員会の一人として改めて感謝申し上げます。

さて、中標津支部は中標津、別海、標津、羅臼の4町で構成されています。私は別海町職員として勤務しているのですが、別海町へ立ち寄っていただいた方はいらっしゃいましたでしょうか。

今回は、最近別海町で始まったちょっと変わったイベント「別海アイスマラソン」について紹介させていただきます。

「別海アイスマラソン」は、日本で唯一の凍った海の上を走る陸地を走らないマラソン大会です。1周4.2kmの周回コースで、42km、16km、4.2kmの3種目が開催されます。気温や天候によって路面状況が刻々と変化し、固く締まった

氷の上を走る日もあれば、気温上昇で雪が緩み、まるで砂漠のように足を取られる日もあります。自然の変化そのものがレースの難易度を左右する、まさにアドベンチャー型のマラソンです。

この凍った海の上というのがポイントで、海が凍る場所というのは、北極圏くらいなので、世界的にも珍しい場所だそうです。北極圏の定義は北緯66度33分以北のことですが、海が凍る場所という考えもあるそうで、そうすると昨年11月には道内の広範囲でオーロラが観測されたこともあり、道内も北極圏の一部といえるかもしれません。と、大会レセプションで北極冒険家の荻田康永さんがおっしゃっていました。

2023年から始まり今年2月の大会で4回目の開催でしたが、当初は100人定員ギリギリだった参加者数も、だんだん全国の物好きなランナーたちに認知され、今年は全国各地や海外からも200人以上のエントリーがありました。アイスマラソンは、南極や北極でも行

われているようですが、渡航費などを考えると数百万円ほど掛かるといい、同じ環境で国内で走れるということで、南極マラソンの練習として参加された方もいたそうです。

普段マラソンなどしない方にとっては、わざわざお金を払ってまで、真冬の海の上を走る意味が分からないかもしれませんが、4.2km部門には地元の小中学生も多く参加していて、そこまで過酷なレースではありませんので、もし興味が湧いた方は、来年も開催されると思いますので、ぜひ参加していただけたらと思います。



何も無い雪原の上を無心で走ります

道士会の動き

本部の主な会議報告（5月）

◆第2回総務企画委員会

（開催日）15日（金）

- 1) 第3回理事会議案について
- 2) 報告事項について

◆第2回役員会

（開催日）22日（金）

- 1) 第3回理事会議案について

◆第3回理事会※すべて承認済み

（開催日）29日（金）

- 1) 令和8年一般会計予算の補正と流用（案）
- 2) 令和8年一般会計事業報告及び収支状況報告（3月末）
- 3) 令和8年特別会計事業報告及び収支状況報告（3月末）
- 4) （一社）北海道建築士会第48回全道大会（さっぽろ大会）決意文（案）
- 5) （一社）北海道建築士会第48回全道大会（さっぽろ大会）開催案内
- 6) 令和8年（公社）日本建築士連合会会長表彰推薦者（案）
- 7) 令和8年（一社）北海道建築士会会長表彰者（案）
- 8) （一社）北海道建築士会運営規則の改正（案）
- 9) （一社）北海道建築士会代議員選挙規則の改正（案）
- 10) （一社）北海道建築士会支部交付金等運営細則の改正（案）
- 11) デジタルコミュニケーション戦略プロジェクトチームの設置（案）
- 12) 定款第6条に基づく会員の入会承認（案）
- 13) 令和8年会費未納の会誌送付停止（案）

本部の主な行事予定（6月）

20日（土）・21日（日）

女性建築士の集い（苫小牧市・室蘭市）

22日（月）

（一社）北海道建築士会支部長・支部事務局長会議

講習会・セミナーのご案内（6月）

※詳細は、「北海道建築士会」ホームページをご覧ください（<https://h-ab.com/>）

監理技術者講習

10日（水）札幌市

編集後記

札幌にYOSAKOIの鳴子が響き、初夏の訪れを感じるこの頃。デジタルが進化する今だからこそ、最後は「人」の温もりが大切だな、としみじみ感じています。

便利さと心地よさを、いい塩梅でミックスしていけたらいいですね。

皆さんとこの爽やかな季節を楽しみつつ、ヒントになる情報をお届けしていきます。

情報委員会担当常務理事 岩崎 美乃（函館支部）

“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！



■視聴方法：北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

■6月パスワード：Hiy068

CPD認定プログラム（5月認定）

◆女性建築士の集い

- 《日程及び会場》
- 6月20日（土） 11：30～13：00
星野リゾート界ポロト（白老町）
 - 6月20日（土） 14：30～15：30
・Aコース：ナチュの森（白老町）
・Bコース：ウポポイ（白老町）
 - 6月21日（日） 10：00～12：00
室蘭ユースホテル（室蘭市）

《単位数》 各1～2単位

《上記プログラム問合せ先》

（一社）北海道建築士会 TEL 011-251-6076

建築士登録に係る変更届について

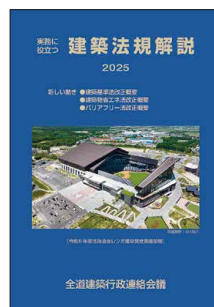
次の①～③の項目に変更があったときは、その日から30日以内に「住所等の届出」を申請者本人が届け出て下さい。

- ① 住所・本籍・生年月日・性別
- ② 建築に関する業務に従事する方は、勤務先名称・所在地・業務種別
- ③ 建築士事務所の名称・開設者

提出先は、北海道建築士会本部となりますので、詳細は、ホームページをご覧ください。

※二級・木造建築士は、北海道知事の免許証に限る

実務に役立つ建築法規解説2025



北海道建築士本部窓口または、北海道建築士会オンラインショップにて販売

価格：3,900円（税込）

残りわずか

情報委員会委員長／前田 繁

副委員長／村山 賢司・立花智亜喜

委員／奈良岡 修・山川 力

津山 浩・椛川 正人

北海道建築士 No.346号

発行 令和8年6月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル

電話 (011)251-6076番

URL <https://www.h-ab.com/>